

発信を頑張っても反応がない

ちゃんと考えて書いている / いいことを書いた感覚もある

それでも読まれない

自由に書けるはずなのに怖い
意味あるのかで手が止まる

止まる原因は「設計不足」

「伝えたい」が壁になる

設計のミスマッチ

読者の入口が未設計

- 書きたいことが先にある
- 独り言として処理される
- 自分とは関係ないで閉じられる

想いはあっても通過される
読者視点への変換不足

その前提を、捨てる。

- × 伝えたいことがあれば届く
- × いい内容なら読まれる
- × 自分語りでも共感される
- × 自由に書けば反応が返る

独り言と共感は別物

「読みたいこと」が先にある

読者の気持ちから書く

1. 共感：最初に共感を置く

2. 問い：次に問いを置く

3. 視点：その後に視点をずらす

4. 結論：最後に持ち帰りを置く

共感 → 問い → 視点 → 結論

「自分事」への転換

他人事が自分事になる
読者の指が止まる

- 頭の中に余白ができる
- 続きを読む理由が生まれる
- 心にひっかかる文章になる

反応の起点ができる

内容が届く状態になる

順番だけ、直す。

1. 過去投稿を一本選ぶ
2. 冒頭の自分語りを消す
3. 読者の心の声に置き換える
4. 一文だけ問いを挟む
5. 結論は最後に移動

順番だけ直して再投稿
差分だけ確認する

投稿前のセルフ点検

- ☐ 一文目が読者の気持ちか
- ☐ 問いが入っているか
- ☐ **視点の転換があるか**
- ☐ 結論が早すぎないか
- ☐ 自分の話から始めていないか
- ☐ 読む理由が先にあるか

止まらなければ書き直す

「型」を手にも、進む。

- まず順番だけ整える
- うまく書くは後回し
- 共感と問いを型にする
- 反応が出た流れを残す
- 自力で直せる視点を持つ

必要なら外から順番を整える

必要な人だけ次へ